

人口流出と雇用の創出

全国的に急激な人口減少が見込まれる中、本市においても昭和35年の統計開始以来、転出者が転入者を上回る「転出超過」の状況が続いています。この人口減少は就学や就職等を背景とした「若い世代の都市圏への流出」などが大きな要因であると考えられており、この状況が続くと、2040年には人口が20万人を下回る事が予測されています。

一方、本市の有効求人倍率を見ると、平成27年以降は1.0倍を上回る数値となっており、統計上は人手不足の状況が続いています。それにも関わらず、現在も人口流出に歯止めがかからないのは、若い世代に大都市・大企業志向の人が多く、地方では希望の職種に就けないと思っている人が多いことなどが要因であると考えられています。

このような地方における人口減少は全国的な課題になっていますが、こうした状況が続くと、企業の生産活動が縮小し、経済だけでなく、まち全体の衰退につながっていくことが指摘されています。本市ではこのような事態にならないよう、人口減少に歯止めをかけ、「佐世保で働きたい」と思えるような元気の経済・雇用環境をつくっていくため、さまざまな事業に取り組んでいます。

今回の特集では、特に「新たな雇用の受け皿となる仕事づくり」として本市が力を入れて取り組んでいる「企業立地」について紹介いたします。

製造業やオフィス系企業を中心に

本市の求人状況を産業別に見てみると、医療・福祉分野の割合が最も高く全体の約20%、卸小売業が約18%、宿泊・飲食業が約16%を占めているのに対し、製造業は約6%、オフィス系を含むサービス業は約8%と低くなっており、都市圏に比べると製造業やオフィス系企業の求人が少ない状況となっています。県内全体を見ても同様で、製造業や一般事務といったオフィス系の業種を希望する人は仕事を求めて県外へ転出せざるを得ない状況となっています。

そのため本市の企業立地の施策では、大規模な雇用創出につながる製造業を中心に、オフィス系企業や本社移転を見据えた企業を市外から誘致したり、市内企業の工場・事業所の増設・移設を促進したりする事業を重点的に進めています。

人材確保など操業開始までの支援

本市では、製造業、中でも自動車関連企業を中心に直接企業を訪問し、誘致活動を行っています。近年では関東や東海地方を中心に訪問活動を行っており、平成24年度から昨年度までの5年間で約4千件を訪問しています。

特集

雇用を生み出す
企業立地



本市が力を入れて取り組んでいる「企業立地」。全国的に人口減少が課題となっている中、新たな雇用を生み出すため、さまざまな企業を訪問し、佐世保の魅力を伝えることで、たくさんの企業が市内に立地しています。今回の特集では、本市の現状や立地した企業で働く皆さんのインタビュー、今後の取り組みなどについて紹介します。



シーヴィテック九州との立地協定調印式(平成26年11月)

平成18年度には「佐世保市企業立地促進条例」を制定し、土地の取得や設備投資、雇用に対する奨励金などを交付する制度を設けました。

また、本市では立地決定後、操業開始に向けた人材確保の支援にも力を入れています。ハローワークや市内の高校等の関係機関と連携し、企業に同行して採用支援を行うなど、企業との信頼関係を築いています。

その他、市外企業の立地や地元企業の規模拡大の受け皿となる「工業団地」の維持管理など環境整備にも取り組むとともに、昨年度からは相浦地区における新たな市営工業団地の整備に着手しています。

企業立地で生まれた雇用

本市では平成26年度以降、新たに8社(製造業7社、オフィス系1社)に立地していただき、市内に住む409人の雇用が生まれ、将来的には807人の雇用が予定されています。また、立地企業では就職等のため大都市へ移っていた人などが佐世保へ戻ったり、他都市から移住したりする「U・Jターン」による採用も年々増えており、ことし9月時点で89人が雇用されています。

本市では、これからも市民の皆さんや地元に戻って働きたい人が安心して働けるように、企業立地の推進に取り組んでいきます。

市内の工業団地の所在地



- ① 佐世保テクノパーク(三川内新町)
- ② 佐世保ニューテクノパーク(崎岡町)
- ③ 吉井町御橋工業団地(吉井町)
- ④ 鹿町町工場適地(鹿町町)
- ⑤ ウエストテクノ佐世保(小佐々町)
- ⑥ 相浦地区市営工業団地(相浦町) ※整備中。

市内に立地した主な企業

平成18年度からことし4月までに立地した企業は30社で、そのうち市外から13社が新設し、市内にある17社が工場や事務所などを増設・移設しました。特に市外からの企業立地によって、製造業を中心に1,292人の雇用が生まれました。平成26年度以降に立地した主な企業は次のとおりです。

市外から新設した企業(予定を含む)

企業名	本社	雇用予定数
株式会社シーヴィテック九州	愛知県	320人
双葉産業株式会社	大阪府	150人
富双テック株式会社	大阪府	20人
株式会社ハウコム	神奈川県	150人
有限会社中村電機工業	佐賀県	49人

市内で増設・移設した企業

企業名	雇用予定数
株式会社九州テン	107人
八天工業株式会社	5人
株式会社フェロー	6人

地元で「世界一のベルト」作りを

シーヴィテック九州製造部 金子 迅兵さん



転職のため愛知県から地元・小佐々に帰り、入社して一年半になります。シーヴィテック九州は国内で唯一、自動車用無段変速機(CVT)の金属ベルトを製造しており、私は品質確認や設備のメンテナンス、部品の定期交換などを担当しています。

工業高校に通っていた当時は、自分のやりたい仕事がないと、卒業生のほとんどが県外の企業に就職していました。私も県外で就職しましたが、働いているうちに「いつか地元に戻りたい」という思いがあり、転職を機に佐世保へ戻ることを決めました。高校時代を振り返ると、まさか佐世保にこんな会社ができるとは思っていませんでしたし、両親や祖母も私が地元へ帰ることを大変喜んでくれたので、本当にうれしかったです。

CVTベルトには、安全性や高品質が求められており、作業の正確さや効率性も要求されます。責任のある仕事で苦労する部分も多いですが、目標を達成したときにはやりがいを感じます。また、従業員

の平均年齢が31歳と若く、仕事でやりにくい部分があればみんなで話し合って改善し、「地元で「世界一のベルト」を作りたい」と頑張っています。

北海道や愛知県にも工場がありますが、工場の拡張には制限があり、その点、佐世保は広い土地を生かし効率的なライン設計にされています。また、海や山に囲まれた豊かな自然があり、空気がとてもきれいなので、毎日気持ちよく働いています。

(取材日10月21日)

シーヴィテック九州が製造するCVT金属ベルト



国内唯一の自動車用無段変速機(CVT)ベルト専門メーカー
株式会社 シーヴィテック九州 所在地 小佐々町黒石332の1
生産開始時期 平成28年12月 本社 愛知県田原市

社員一人一人を大切に

双葉産業 総務係 川原 春奈さん



ことし入社2年目で、佐世保への立地をきっかけに就職しました。双葉産業は自動車の内装部品を生産しており、この工場ではシートカバーの縫製を行っています。普段は労務管理など総務の仕事をしており、社内のイベントなどで一緒に働く仲間の笑顔を見るとやりがいを感じます。

一般的に工場というイメージが強いですが、この工場では全体の8割が女性で、平均年齢も28歳と若く、活気にあふれたメリハリのある職場です。また、年齢が近いため人間関係も楽々です。仕事の悩みなども気軽に相談することができるので、みんな楽しく仕事をしています。

また、双葉産業は社員一人一人を大切にすることで、従業員が不便だと思ったことはすぐに改善してくれます。特に女性にはとても働きやすい職場で、ことし7月には企業内にわかば保育園が開園しました。私もさっそく利用していますが、工場と同じ敷地内にあつて、保育園の保育士さんたちも会社の

状況を分かっているのです。残業で迎えが遅くなったときや、土曜・祝日なども安心して預けることができます。子どもも母親が近くにいることを分かっているようで、安心して入園から入園以来一度も熱を出したことがありません。保育士さんたちは親身に相談に乗ってくれますし、保護者の要望にも柔軟に対応してもらえるので、安心して働くことができます。

これから結婚や出産を控えている人にとってはとても恵まれた環境だと思いますし、私も仕事と育児を両立しながら働くことができますので、このような会社が市内にできて本当に良かったと思います。最近では就職のため県外へ出る若い人たちが多く聞きますので、地元でも安心して働ける魅力のある会社を目指していきたいです。

(取材日10月21日)

工場と同じ敷地内に開園した「わかば保育園」



自動車内装部品の製造メーカー 双葉産業 株式会社 長崎工場
所在地 小佐々町葛籠278の1 操業開始時期 平成28年3月
本社 大阪府箕面市

地元への愛着をきっかけに

九州テン 製造部門 松永 早紀乃さん



高校卒業後、ことし4月に就職し、入社9カ月になります。九州テンではドライブレコーダーや防災無線機器などの製品を製造しており、普段は製造部門で基板検査を担当しています。

就職するときは県外へ出ることも考えましたが、佐世保は自然豊かで愛着がありますし、家族もいたのでもう悩まなかった。そのときに市内の企業が業務拡張のため、地元・小佐々に移転してくることを知り、両親の希望もあって、この会社で働きたいと思い、就職を決めました。

商業高校出身ですが、佐世保で働くなら製造業に携わりたいと思い、製造部門を希望し、半年間の研修後、現在の担当になりました。基板検査では機械で外観検査をした後、目で製品に異常がないかを確認します。基板製品は部品が多く、仕事を覚えるまでに時間がかかりますが、分からないところは先輩方が優しく教えてくださるので毎日楽しく仕事をしています。また、荷物運びなどの力仕事は男

性社員が率先して手伝ってくれるので、とても助かります。

最近新しい企業や工場が立地されたことで、そこで働く人が会社の近くに住むようになりました。人口が増えるのは地元の人間としてうれしく思いますし、パークビューや少年野球大会などを通じて地域の方と交流を深めているので、地域の皆さんも喜ばれています。とても働きやすい職場なので、将来結婚や出産で家庭を築くことになっても、今の仕事をずっと続けていきたいと考えています。

就職して半年ほど経ち、最近、県外で働く友達から「地元へ帰りたい」という声をよく聞くようになりました。私も地元で働く一人としてぜひ戻ってきてほしいです。みんなが安心して生活できるようないい会社がたくさん増えてほしいと思います。

(取材日10月21日)

製造した基板を検査する九州テンの従業員



無線通信機器・各種車載器製造メーカー 株式会社 九州テン
所在地 小佐々町葛籠278の18 操業開始時期 平成29年1月
本店所在地も同上



センターの新設に伴い、宮崎県から赴任しました。ハウコムでは、IT関連を中心に事業を展開しており、佐世保ではヘルプデスクとコールセンターサービスをしています。問い合わせの増加に伴い、新たなセンターの開設を検討していた中で「佐世保の魅力」に引かれて昨年11月に佐世保市への立地を決定しました。

佐世保に立地を決めた理由は三つあります。

一つ目は「人材確保への期待」です。佐世保は人口も多く、オフィス系の求人倍率が0.5倍を下回っていたため、就職を希望する人の確保が見込めました。また佐世保の方は人柄も良く、困った人を放っておけない性格の方が多いように感じますが、これはコールセンターに欠かせない要素の一つなんです。佐世保には昔から市外から来た人を快く受け入れる文化がありますし、分け隔てなく人と接する気質にはとても魅力を感じました。そして日中にアーケードで買い物をしているお客さんの多さにも驚きました。候補地選定の際にい

るような自治体を見ましたが、これほど人通りが多く、活気あふれるまちは他にありませんでした。

二つ目は「行政の万全な支援体制」です。立地に際して、事前にいろいろとご説明いただき、こちらの要望にも迅速に対応していただいたことで、貴市の立地に対する熱意を感じました。立地までではなく、今後もパートナーとして付き合っていく上で、この熱意は大切だと思いましたし、職員の方々の対応にはとても信頼が持てました。

三つ目は「安全性の高さ」です。佐世保は、震度6以上の地震発生確率が九州内で最も低く、津波などの災害リスクが少ないまちです。以前私が住んでいた宮崎県も地震は少ない方でしたが、昨年4月に起きた熊本地震以降も佐世保はほとんど揺れがなく、近隣の自治体と比べても影響が少ないことには本当に驚きました。災害など何が起こったときにきちんと対応できることが私たちの責務だと思えますので、その点で大きな魅力の一つだと感じました。

余談ですが、佐世保は食べ物もおいしく、自然豊かなまちだと思います。新鮮な魚、特にイカのおいしさには驚きましたし、展海峰から見ると日は感動しました。地元の方は当たり前と思われるかもしれませんが、本当に素晴らしいので、今では自分の地元のように自慢しています。

今後は、単に人を雇っただけでなく、人材育成を通じて佐世保に恩返しをしたいと考えています。

他社とは違い、あらゆる業種・業態の企業様・団体様の業務に関わりますので、いろいろな経験やスキルを身に付けることができますし、サービスの質を向上させることで顧客のビジネス成功にもつながると思っています。そのためにも、これからは県外で働いていて佐世保に戻りたいと考えて

いる人に目を向け、事業拡大のキーマンになってもらえればと考えています。また、従業員だけでなく、地元の皆さんにも「ハウコム」が佐世保にあることを誇りに思ってもらえるような会社にしていきたいと思います。

(取材日10月30日)

ヘルプデスク（ITサポート）企業 株式会社ハウコム佐世保アウトソーシングセンター
所在地 米町4の1 操業開始時期 平成29年3月 本社 神奈川県川崎市

誘致企業に対する 佐世保の3大メリット

本市では誘致企業へのメリットとして主に次の3点をPRし誘致活動を行っています。

1 優秀で豊富な人材

市内には工業系の専門学校や高校が複数あり、長崎県は資格試験などを通して身に付けた知識・技術・技能を評価する「ジュニアマイスター顕彰制度」の認定者数が毎年全国5位以内に入るなど、優秀な人材をたくさん輩出しています

2 高い安全性

過去70年間で震度5以上の地震が1度も観測されておらず、今後30年間に震度6以上の地震が起こる確率が低いとされています

3 優れた交通アクセス

日本本土で最も西に位置し、経済成長が著しい東アジア地域と近接しているため、移動面で地理的な優位性があります。また、西九州自動車道の開通により市内や隣接する他市町への交通アクセスが改善され、将来的には全線開通により福岡までの移動時間が短縮されます



「みんなが安心して

働けるまち」を目指して

本市では、企業立地を支援するための奨励制度の運用や新しい工業団地の整備のほか、就学や就職などで県外にいる人が、地元へ戻り安心して働けるようにさまざまな支援を行っています。

企業立地奨励制度

一定の要件を満たした企業などに対して企業立地奨励制度を設けています。

対象

製造業、研究所、オフィス系企業で投下固定資産額、常用雇用者数が一定要件を満たす企業（市外からの新設、市内での増設・移設）

主な内容

土地取得奨励金（土地の取得に対する奨励金）、土地等賃借奨励金（土地と建物の賃借料に対する奨励金）、立地奨励金（土地、建物、償却資産の固定資産税に対する奨励金）、雇用奨励金（雇用者数に応じた奨励金）、オフィスビル整備促進奨励金（一定規模のオフィス床整備に対する奨励金）

※詳しくはお尋ねください。

◎企業立地推進局 ☎24・1111

相浦地区新工業団地整備

新たな製造業の受け皿となる工業団地を相浦地区に整備します。平成31年10月から分譲開始予定で、分譲面積は約6ヘクタールです。

・車〇西九州自動車道相浦中里ICから約4km(8分)

・鉄道〇JR 佐世保駅から約10km(20分)

・飛行機〇長崎空港まで約73km(80分)

◎企業立地推進局 ☎24・1111

佐世保市業界セミナー

特集で紹介した誘致企業などさまざまな分野の市内企業が集まり、市内で就職し、活躍することについて考えるイベントを開催します。実際に商品や精密部品などに触れるコーナーや佐世保の魅力を紹介するブースもあります。

日時 1月13日(金)12時～15時 場所 市民文化ホール

対象 市内での就職を希望する学生など 料金 無料

※申込不要。服装は自由です。

◎商工物産課 ☎24・1111

移住サポート

新みなとターミナル(新港町)にある「させぼ移住サポートプラザ」では、U・J・ターナーなどで佐世保への移住を考えている皆さんに住まいや仕事、移住支援制度などを案内しています。事前の予約で年末年始も相談を受け付けますので、帰省などの際にぜひご利用ください。

主な支援内容

奨学金等返還サポート制度、移住就業支援助成金交付事業、市営住宅U・J・ターナー促進事業、就職あっせん支援事業など

受付時間

平日8時30分～17時15分 ※土・日曜、祝日、年末年始(12月29日)～1月3日(金)、時間外も受け付け(要予約)。

※詳しくはお尋ねください。

◎させぼ移住サポートプラザ ☎25・9255

Eメール uj-turn@city.sasebo.jp